

電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」
ファイル仕様書

1.4 版

令和 6 年 3 月

国土交通省国土地理院

更新履歴

2011-01-18	第 1.0 版	初版を公開
2012-08-21	第 1.1 版	1.1 (日付, 作成者), 1.4 (時間範囲), 3.3 (問合せ先), 4.2 (経度, 緯度の空間参照系), 5.1 (空間参照系) を変更
2013-04-05	第 1.2 版	4.2 (住所コード) を変更
2023-03-31	第 1.3 版	符号化方式を SHIFT-JIS から UTF-8 へ変更
2024-03-01	第 1.4 版	4.2 (町又は字の名称) を変更

1. 概覧

1.1. 地理空間データファイル仕様書の作成情報

ファイル仕様書の題名：電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」ファイル仕様書

バージョン：第 1.4 版

日付：2024-03-01

初版日付：2011-1-18

作成者：国土交通省国土地理院基本図情報部

言語：日本語

分野：電子国土基本図

文書書式：PDF

1.2. 目的

地理空間情報における位置表現の方法として広く使われている「住所」を地球上の位置と対照付けられる位置参照情報として提供することで、地理空間情報の活用を推進する。

1.3. 空間範囲

日本全国における「住居表示に関する法律」に基づく住居表示実施地区

1.4. 時間範囲

特に定めなし。

2. 適用範囲

2.1. 適用範囲識別

電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」として提供されるデータを適用範囲とする。

2.2. 階層レベル

データ集合系列

3. データ製品識別

3.1. 地理空間データ製品の名称

電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」

3.2. 日付

2011-01-18

3.3. 問合せ先

国土交通省国土地理院 基本図情報部 お問合せ窓口

電子メール: gsi-nmd-inq@mlit.go.jp

3.4. 地理記述

日本全国における「住居表示に関する法律」に基づく住居表示実施地区

4. データ内容及び構造

4.1. 応用スキーマ UML クラス図

電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」レコード
市区町村コード：文字列
町又は字の名称：文字列
街区符号：文字列
基礎番号：文字列
住所コード（可読）：文字列
住所コード（数値）：空
経度：実数
緯度：実数
地図情報レベル：整数

4.2. 応用スキーマ文書

4.1 に定める各情報項目の説明は、次のとおりである。

市区町村コード	JIS X 0401 及び JIS X 0402 で定義された、5桁のコード（検査数字は使用しない）をいう。政令指定都市については、政令指定都市の区のコードを使用する。
町又は字の名称	住居表示に関する法律（昭和37年法律第109号）等という町又は字の名称。ただし、「〇丁目」の部分の数値は、「十」を使用し「〇」を使用しない漢数字による表現に統一している。 例) 二十丁目
街区符号	住居表示に関する法律（昭和37年法律第109号）第二条に定める街区方式における街区符号をいう。
基礎番号	住居表示に関する法律（昭和37年法律第109号）第二条に定める街区方式による住居表示実施地域について、各建築物に住居番号を付定するための基準として、街区縁上に定められた区間の番号等をいう。
住所コード（可読）	市区町村コード、町又は字の名称（※1）、街区符号（※2）、基礎番号（※2）等の情報をスラッシュで連結し、URI形式としたコード。 例) http://gi.gsi.go.jp/jusho/01101/AGO-1/1/1 ※1: 「〇丁目」の部分ハイフン及びアラビア数字の組み合わせに、

	それ以外の部分を3から6文字の英字に置き換えている。 ※2：英数字及びハイフンはそのまま用いるが、それ以外の文字は別紙に掲載する代替文字に置き換えている。
住所コード（数値）	未定により現状は空である。
経度	JGD2011による地理学的経度。十進法で表す度で表記し、小数第10位を四捨五入して小数第9位までとしたもの。
緯度	JGD2011による地理学的緯度。十進法で表す度で表記し、小数第10位を四捨五入して小数第9位までとしたもの。
地図情報レベル	経度及び緯度の地図情報レベル。住居表示台帳の標定に用いた測量成果の位置精度等に基づき、2500又は25000とする。

5. 参照系

5.1. 空間参照系

参照系識別子：JGD2011 / (B, L)

6. データ品質

原則として地図情報レベル 2500 と同等程度の位置正確度とする。使用する測量成果によっては、地図情報レベル 25000 と同等程度の位置正確度となる。位置正確度については、4.2 に定める「地図情報レベル」によりレコード単位に記録されている。

7. データ製品配布

4.2 に定める情報項目をその順序に格納した CSV 形式（ヘッダ行及びダブルクォートなし。UTF-8 符号化。改行コードは CR+LF）による。

8. メタデータ

JMP2.0 による。

9. その他

電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」は、基礎番号のデータであって、次の特性があるので、使用にあたっては留意のこと。

- ・電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」には、住居表示を実施していない地区のデータは含まれない。
- ・電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」は、個別の建築物を識別するものではない。
- ・基礎番号に対応する住居番号を持つ建築物が必ず存在するとは限らない。
- ・すべての住居番号に対して対応する基礎番号があるとは限らない。
- ・住居表示の実施に際しては、基礎番号によらず住居番号を決めることがある。

住所コード（可読）の街区符号，基礎番号部分における代替文字一覧

文字	代替文字
ア	_201_
イ	_202_
ウ	_203_
エ	_204_
オ	_205_
カ	_206_
キ	_207_
コ	_210_
サ	_211_
シ	_212_
ス	_213_
セ	_214_
ソ	_215_
東	_301_
南	_303_
北	_304_
中	_305_
渡辺	_306_